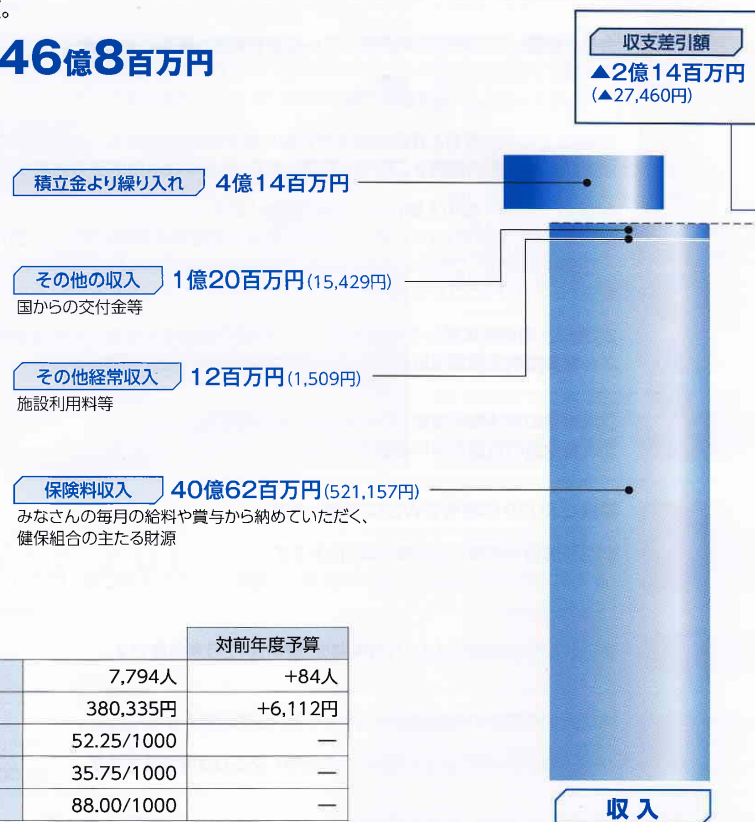


保険給付費、国への納付金の増加により

残念ながら今年度も厳しい赤字予算

※()内は1人あたり額。

予算総額 46億8百万円



予算基礎数値

		対前年度予算	
被保険者数	7,794人	+84人	
平均標準報酬月額	380,335円	+6,112円	
保険料率	事業主	52.25/1000	—
	被保険者	35.75/1000	—
	合計	88.00/1000	—

2019年度予算◆介護保険

予算基礎数値

徴収対象 40歳以上(第2号被保険者)人数		4,115人
平均標準報酬月額		422,920円
保険料率	事業主	7.5/1000
	被保険者	7.5/1000
	合 計	15.0/1000

収入	
介護保険収入	4億1,200万円
その他の収入	1,000万円
合計	4億2,200万円
支出	
介護納付金	4億4,080万円
その他の支出	550万円
合計	4億4,630万円
準備金より繰入れ	2,430万円

予算のポイント

保険料率は前年度と同率8.8%

みなさんと会社からいたたく保険料収入は、保険料率を前年度と同率とし、前年度見込みより18百万円減の40億62百万円を見込んでいます。

保険給付費は前年度比増額

みなさんの保険給付額は医療費等のUPを見込み前年度(見込み)より40百万円増の20億29百万円を見込んでいます。

納付金は前年度比増額

国への納付金のうち後期高齢者支援金が前年度(見込み)より89百万円ほど増加する見込み。納付金全体でも34百万円ほど増加し、21億54百万円を見込んでいます。

保健事業費は前年度比増額

保健事業費は、前年度見込みより21百万円増の1億18百万円を見込んでいます。今年度も保健事業は、みなさんの健康を保持・増進するため拡充し、結果として将来の給付費の増加が抑えられればと思います。

赤字は積立金の繰入で賄う

支出が大幅に増加するため、前年度見込みに引き続き赤字の予算となります。赤字は、当面は積立金の繰入で賄うこととなりますが、当組合の取り巻く環境は引き続き厳しい状況が見込まれ、国への納付金額等を注視しながら今後の運営を考えていきます。